

令和7年3月24日

市政記者クラブ 様

教育委員会事務局博物館総務課
担当：佐藤、時田（電話：853-2655）

名古屋市博物館シンボルマーク及びロゴタイプの制定について

みだしのことにつきまして、下記のとおり名古屋市博物館のシンボルマーク及びロゴタイプを制定いたしましたので、お知らせします。

記

1 趣旨

リニューアルを契機に、子どもから大人までより多くの方に愛され来館していただけるようになるとの思いを込め、シンボルマークとロゴタイプを制定しました。みなさまに長く親しんでいただけることを願っています。



名古屋市博物館

NAGOYA CITY MUSEUM

2 デザイン作成

公募型プロポーザルを実施し、全11者の応募のなかから選定された株式会社社中広の提案を基に作成しました。

3 コンセプト

(1) シンボルマークについて

建物の特徴的なシルエットと、「NAGOYA CITY MUSEUM」の頭文字「NCM」を融合させたものです。

円・三角・四角といったシンプルな幾何学的な図形で構成され、博物館が持つ普遍的な魅力と知の広がり表現するデザインです。

(2) ロゴタイプについて

シンボルマークの「NCM」が持つ角度や形状から組み立て新たに生み出した書体で、シンボルマークとの一体感を大切にしました。

(3) 基本色について

「青色」と「金色」を基本色としています。

- ・青色：博物館が収蔵する高力猿猴庵(こうりきえんこうあん)が著した書籍の表紙色である「浅葱色(あさぎいろ)」を出発点に、より視認性を高めた色を採用しました。
- ・金色：名古屋を象徴する金鯨からイメージしており、博物館が、過去と未来を照らす光として機能することを意味しています。

【高力猿猴庵 (1756～1831) とは】

江戸時代後期の文筆家兼画家。尾張藩士として勤めるかたわら、名古屋近辺で催された見世物、祭礼といった娯楽や事件を生き生きと描き留め、著作として残した。いわば近世名古屋のジャーナリストというべき人物。博物館では猿猴庵の著作を27件40点所蔵し、博物館資料叢書3として影印本をこれまでに30冊刊行している。



高力猿猴庵著『新卑姑射文庫』名古屋市博物館蔵

4 表示

令和7年4月1日(火)から、名古屋市博物館が提供する情報、サービスなどに表示します。